

永井 恒司先生 経歴・功績

氏名：永井 恒司（ながい つねじ）
出身地：群馬県勢多郡赤城村敷島
（現在の渋川市赤城町敷島）
生年月日：1933年6月10日

写
真

1. 学歴

群馬県立渋川高等学校卒業（1952年）
東京大学医学部薬学科卒業（1956年）
“ 大学院(薬学)修士課程修了、同博士課程修了薬学博士（1961年）
米国 コロンビア大学留学（1965 - 66年）ミシガン大学留学（1966 - 67年）

2. 職歴など

薬剤師登録（1956年9月24日）
東京大学薬学部助手（製剤学 1961 - 71年）
星薬科大学(薬剤学)教授（1971 - 99年）
星薬科大学学長（2001 - 04年）
財団法人永井記念薬学国際交流財団設立 理事長（1994年）
アジア薬剤師会連盟薬科大学(FAPA-CP)初代学長（1997年）

3. 受賞歴など

国際薬学連合(FIP)ヘスト・マドセン・メダル(金メダル学会賞)（1986年）
トルコ国立Hacettepe大学名誉博士（1996年）
紫綬褒章（1999年）
英国ロンドン大学名誉博士（2001年）
公益社団法人日本薬剤学会名誉会長（2009年）
オランダ国ライデン大学、中国北京大学の他8大学の名誉教授

4. 研究領域

薬剤学・製剤学（生物学的利用能の解明と制御に関する研究；薬物送達システムの研究）
次の内容を含む：固形剤の溶解速度論、薬物移行、薬剤学的薬物相互作用、添加物の製剤物性、シクロデキストリン、粘膜付着性、経皮吸収、製剤設計、薬物代謝・薬動学、臨床治験

5. 印刷物・特許

原著論文：560編総説、その他の論文及び記事(取材記事を含む)：580編
Drug delivery（薬物送達）関係論文引用頻度世界第4位
(1975-1997年間にISI出版のデータ；永井らの論文287編が総計1636回引用された
；世界6,000,000科学者を対象とし、500回以上引用された者10,800人の中から)
特許：64件（国内56件 国際8件：既満了）；実用化新医薬品3品目

ビルマ政府より 永井先生に贈られた『ビルマの豎琴』
(長さ 90 cm×高さ 80 cm×幅 27cm)

日本政府の対外援助計画の基づく

ビルマ製薬研究開発センター(DCPT)プロジェクト(1981-87年)

- 1981年 5月31日 上記プロジェクト実施協議調査団長として、ビルマ国ラングーン市へ出張
～ 6月6日 (国際協力事業団派遣)
- 1981年 12月27日 上記プロジェクト国内委員会委員長として、プロジェクト実施協議のため
～ 12月29日 ビルマ国ラングーン市へ出張
(国際協力事業団派遣)
- 1983年 2月21日 上記プロジェクト国内委員長として、視察・実施協議のため ビルマ国ラン
～ 2月27日 グーン市へ出張
(国際協力事業団派遣)
- 1983年 5月15日 上記プロジェクト実施調査団長として、ビルマ国ラングーン市へ出張
～ 5月22日 (国際協力事業団派遣)
- 1984年 7月1日 上記プロジェクト国内委員長として、視察・技術指導のため ビルマ国ラン
～ 7月8日 グーン市へ出張
(国際協力事業団派遣)
- 1985年 3月10日 上記プロジェクトエバリエーション調査団長として、ビルマ国ラングーン市
～ 3月17日 へ出張
(国際協力事業団派遣)

上記プロジェクト国内委員長さらには調査団長としての功績により
1985年 ビルマ政府より『ビルマの豎琴』が贈呈された。

2014年 永井先生より 母校 渋川高等学校に寄贈された。